

兵庫 2030 年の展望(仮称)の策定について

1 趣旨

2030 年は、団塊の世代が 80 歳を超え、県内の後期高齢者人口がピークとなる一方、革新的科学技術の生活への浸透等、社会構造の大きな変化に直面する時期となる。平成 30 年に県政 150 年を迎えるに当たり、こうした変容が見込まれる 2030 年に向けて希望ある道筋を描くため、多様な地域性や進取と自由の気風、豊かな生活や文化、多文化共生等のポテンシャルを持つ雄県として、兵庫の未来と進むべき方向を県民とともに考え、これからの兵庫づくりに向けた県政の新たなステージを展望する。

2 位置づけ

兵庫県地域創生戦略と 21 世紀兵庫長期ビジョンをつなぐ、2030 年頃の兵庫の姿を全県及び五国の地域特性別の双方で提示し、あわせて今後の県政の取組方向を示す。

3 策定方法

兵庫県長期ビジョン審議会において有識者による議論を行うとともに、県民からの意見を聴取する。

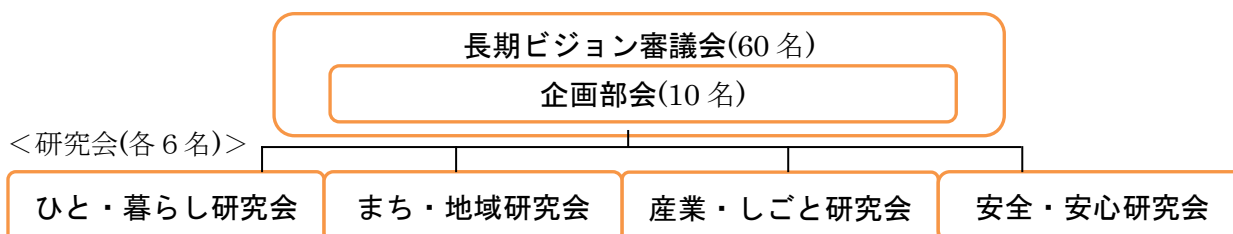
(1) 長期ビジョン審議会での議論

①企画部会

- ・長期ビジョン審議会委員から学識経験者及び団体代表者を選任

②研究会

- ・各分野（4 つ）の学識者、実践活動家、産業関係者等で構成



(2) 県民からの意見聴取

①県内各地域での県民との意見交換

- 2030 年の兵庫に向けた課題や夢を各地域の県民から聴取
- 県内各地域の多様性を踏まえ、各県民局・センター圏域で県民と意見を交換
- 参加者：地域ビジョン委員、一般県民、県幹部

②若者を対象としたフォーラム

- 若い世代の視点、発想を取り入れるため、次代の担い手である若者を対象とするフォーラムを開催
- 参加者：県内在住又は県内に進学している高校生及び大学生

③県民へのアンケート調査

- 県民が望む 2030 年の兵庫の姿についてアンケート調査を実施

4 スケジュール

<28年度>

- 29年1月9日 第1回企画部会
29年2月～3月上旬 第1回研究会
地域夢会議
県民モニターアンケート調査
29年3月15日 第1回長期ビジョン審議会総会

<29～30年度（予定）>

- 29年4月～ 企画部会及び研究会随時開催
29年6～7月 県民アンケート調査
29年8月 若者フォーラム
29年秋 県内各地での県民との意見交換
30年2月 第2回長期ビジョン審議会総会
30年夏 策定

5 企画部会及び研究会委員構成

(1) 企画部会

氏名	所属・役職	
加藤 恵正	兵庫県立大学政策科学研究所教授	部会長
角野 幸博	関西学院大学総合政策学部教授	
草郷 孝好	関西大学社会学部教授	
佐竹 隆幸	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授	
中瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館館長	
中林 志郎	兵庫県商工会議所連合会専務理事	
三上 喜美男	神戸新聞社論説委員長	
森本 邦裕	(公社)日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会副会長	
吉富 志津代	(特非)多言語センターFACIL 理事長	
吉本 知之	兵庫県社会福祉協議会会長	

(2) 研究会

①ひと・暮らし研究会

氏名	所属・役職	
有元 純	医療法人達磨会東加古川病院精神保健福祉士	
上村 敏之	関西学院大学経済学部教授	
草郷 孝好	関西大学社会学部教授	座長
小崎 恭弘	(特非)ファザーリング・ジャパン顧問、大阪教育大学教育学部准教授	
土谷 千津子	(社福)きらくえん副理事長	
筒井 孝子	兵庫県立大学大学院経営研究科教授	

②まち・地域研究会

氏名	所属・役職	
角野 幸博	関西学院大学総合政策学部教授	座長
西垣 憲志	田舎暮らし倶楽部代表	
松原 永季	(有)スタジオ・カタリスト代表取締役	
松村 暢彦	愛媛大学社会共創学部教授	
水野 優子	武庫川女子大学生生活環境学部講師	
村上 豪英	神戸モトマチ大学代表	

③産業・しごと研究会

氏名	所属・役職	
大内 伸哉	神戸大学大学院法学研究科教授	
衣笠 愛之	(有)夢前夢工房代表取締役社長	
佐竹 隆幸	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授	座長
本田 幸夫	大阪工業大学工学部教授	
本丸 勝也	インターネットITS協議会関西支部長、兵庫ベンダ工業(株)取締役	
三津 千久磨	ミツ精機(株)代表取締役社長	

④安全・安心研究会

氏名	所属・役職	
客野 尚志	関西学院大学総合政策学部教授	
清野 未恵子	神戸大学大学院人間発達環境学研究科特命助教	
坂本 津留代	神戸市西区井吹台自治会連合会会長	
中瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館館長	座長
紅谷 昇平	兵庫県立大学防災教育研究センター准教授	
横山 恭子	(特非)兵庫県防災士会理事	